

■2003年10月26日(日)・31日(金)■

出かけよう電車に乗って!

人にそして環境にやさしい鉄道の利用を

明治5(1872)年10月14日、日本で初めての鉄道が新橋—横浜間(28.8km)に開通しました。人が歩くと1日かかる距離を蒸気機関車は53分で走りました。以後、鉄道は、移動の足として、身近な公共交通機関として、私たちの生活を支えてきました。鉄道は、一度に多くの人を運ぶことができ、時間に正確で、事故の心配もほとんどありません。

時間の制約がなく自由に移動できる自動車への依存が高くなり、鉄道の利用者数は減少し続けていますが、車を運転できない学生やお年寄り、体の不自由な方など交通弱者の移動手段はもちろん、日常生活の移動手段として、鉄道の維持、活性化は重要な課題です。さらに、地球温暖化や大気汚染の問題、交通渋滞の緩和といった面からも鉄道への期待は高まっています。



えちぜん鉄道全線開通!



10月19日、えちぜん鉄道は、勝山永平寺線永平寺口駅—勝山駅間の運行を開始しました。京福電鉄の運行停止から2年4か月ぶりの全線開通。色づきはじめた山々をバックに、運行再開を待ちわびた沿線住民の皆さんを乗せ、白地にブルーのラインが入った車両がさっそうと駆け抜けています。

えちぜん鉄道では、乗客の安全を最優先に、そして快適に乗っていただくため、さまざまな工夫を凝らしています。毎週金曜日午後11時台に福井駅を出発する勝山駅・三国港駅行き最終電車の運行も10月24日から始まりました。切符の販売、お年寄りや体の不自由な方の乗り降りの手助け、観光地の紹介などを行うアテンダント(接客乗務員)の活躍も評判です。

えちぜん鉄道を支えようと沿線住民の皆さんの「乗る運動」も大きな広がりを見せています。7月の部分開通以降、えちぜん鉄道を利用して、外出、通勤・通学する人たちが徐々に増え、まずまずの滑り出しです。沿線自治体も駅周辺駐車場の整備や無料自転車の貸し出しなどで利用促進を後押ししています。

みんなの期待が詰まった電車が走り続けるためには、さらに多くの皆さんの利用が必要です。車中心の生活を見直し、日ごろから電車の利用を心がけるようにしましょう。

パークアンドライドで通勤を!

朝夕、車の通勤で、悩ましいのが交通渋滞。なかなか進まない車の列に、イライラしたことはありませんか。時間を気にしながら運転するのは、非常に危険です。また、交通渋滞は車からの排ガスを増加させ、大気汚染や地球温暖化など、環境に悪影響を与えています。

そこで、駐車場がある最寄りの駅まで、マイカーで行き、そこから電車に乗り換えて通勤する「パークアンドラ

イド」を試してみたいかがですか。安全に、そして時間どおり目的地に到着でき、電車の中で新聞や本をゆっくりと読むこともできるなど時間を有効に使えます。車の通行量が減少すれば、交通渋滞の解消、大気汚染や地球温暖化の防止にもつながります。

JR北陸本線や越美北線・小浜線、えちぜん鉄道三国芦原線・勝山永平寺線、福井鉄道福武線では、駅周辺に無料または低料金で利用できる便利な駐車場が整備されてきています。

また、県では、平成15年度から3年計画で、福井市街地へアクセスする道路の渋滞緩和、鉄道の利用促進を図るため、JR越美北線、福井鉄道福武線、えちぜん鉄道三国芦原線・勝山永平寺線それぞれ沿線の駅周辺に、パークアンドライド型の駐車場をモデル的に整備していきます。

公共交通機関の利用促進と地球環境の保全を目的として、県では、通勤に公共交通機関等を利用する「ノーマイカーデー」を毎月1日、16日の2日間、実施しています。まずノーマイカーデーから、パークアンドライドを始めたいかがですか。



パークアンドライドに
利用できる主な駅
MAP(地図)

駐車場に関する

お問い合わせは、

各市町村交通担当課まで



出かけよう
電車に乗って!

行楽の秋。鉄道沿線各地には、名所・旧跡、おいしい食べ物など楽しめる所がいっぱいです。一度、電車に乗って出かけてみませんか。電車に揺られ、車窓から見る風景はきっと新鮮に感じるはず。きっと、会話も弾むことでしょう。

この記事に関するお問い合わせは、

県総合交通課 TEL 0776-20-0291、

県えちぜん鉄道支援課 TEL 0776-20-0722

までどうぞ。

BACK